



樹」「ため池」「止々呂美」……等、また「市民プロジェクトみどり」にも協賛し、スライドを作成し講演しました。掲載や資料作成には会員が撮影した膨大な写真の中で、厳選したものです。

掲載を機会に他の写真も関連付けて、パネルにして展示することにしました。「もみじだより」より少し範囲を広げてテーマ毎に、市内各所に点在する「みどり」を写真で紹介しております。

一口にみどりと云っても、季節によって木々や花は多彩な顔を見せます。また一本の巨木、街路樹などの並木、神社やお寺の杜、川沿いの草むら、池に映る樹木、学校、図書館、集合住宅、マンションなど、周囲と調和したみどり、いろいろありますね。また、みどりは季節季節で変化し私たちを楽しませてくれます。

多くの方は、お近くの見慣れた風景だと思われるものがあるでしょう。気が付かれましたか？ そのひとつひとつが箕面のみどりを形成しており、調和した景観になっているのです。

私たちは、みどりを身近かなものと感じて頂ければ、パネル展示の目的の大半が達成されるのです。さらに一歩進んで、みどりを大切に思って頂きたい。一段前へ歩み出し、みどりを育て、頂ければ有り難いことです。

「みどりを育てる」と云えば、すぐに花を植えることをお考えになり、日々が忙しくて敬遠してしまいます。「みどりを育てる」ことを、もっと気軽に考えてみませんか、皆さんの一寸した行動で良いのです。例えば田畑に缶や瓶を捨てないこと。勿論、多くの方は、そんな非常識なことはしないと云われるでしょう。しかし、箕面市内の多くの田んぼ、特に道路に面している所では、農家の方々の悩みの種なのです。

お近くの公園の花壇に水やりをして下さるのもよいのです。川や公園、道路の街路樹の清掃も、「みどりを育てる」ことになるのです。

山並みやみどりに相応しい家や建物の塗色を考える（周りとの調和）ことも、大きな意味で「みどりを育てる」ことです。みどりと調和のとれない、雑多な色づかひの街並みを想像して下さい。街の景観



を考える人々が無くなります。

お宅の駐車スペースに、一部でも芝を植えたり、庭木の一本でも育てたり、小さな鉢植えを置くだけでよいのです。

ひとり一人の力は大きくありません、しかし市民の大半が行動した時を想像して下さい。

私たちの願いです。実行しましょう。



阪急電鉄開業 100周年記念

ええはがきコンテスト 優秀作品 箕面市編

阪急電鉄では、開業 100周年を記念して最初に営業を開始した宝塚線・箕面線沿線を対象に「宝塚線・箕面線 ええはがきコンテスト」を開催し、100年後も守り伝えたい街の魅力を再発見をコンセプトにされました。私たちの「みのお市民まちなみ会議」も主旨に賛同し、多くの会員が応募した。審査の結果 100点の作品が選ばれ、当山会員の写真部門最優秀賞受賞をはじめ、写真や絵画で 5作品が入賞した。



この事からパネル展では、阪急電鉄様の全面的な協力を得て、箕面市に関する作品のみ、当会員及び会員以外の箕面市長賞（樋口友希さん）をはじめ入賞者の作品を、ご紹介することにしました。

各作品には、それぞれ制作者の”おもい・解説”や所在場

所が添付されており、みなさんのご鑑賞のお役に立つことでしょう。

”箕川・水とみどりの会”

会員 30 名、平成 17 年 2 月発足、 代表者 高山 嗣彦

ウツギ池に源を発し、外院と栗生外院の境を流れ下る箕川流域は、里の趣を残す自然環境で、これを何時までも残したい !! 会員の思いが「ひとりひとり、できることを、できるときに」を合言葉に、ゴミの清掃を基本に、約 1Km の土手の除草やコスモス、水仙の栽培、河川管理をする池田土木事務所の協力を得て、木片チップを散布（雑草の繁茂抑制）して遊歩道の整備を進めている。

また、5 年の歳月を掛けて、梅の植樹を呼びかけ、多くの市民から結婚記念、子供の誕生、入学などいろいろの想を込めた梅が徐々に成長している。やがて、美しく咲き誇る紅梅、白梅の散策路となることに胸が膨らむ。

このように、地道な活動が川の水生植物、ホタルを蘇らせ、水質の改善が実感出来るまでになった。この実感をよりの確に把握する為、植物の分布、ホタルの数、水質などの調査、観察を続け、箕川が何時までも美しい流れを保つため、会員のひとりひとりが「できることを、できるときに」の合言葉を、もくもくと作業を続けている。

早春の梅の開花に合わせて「箕川の観梅会」が催され、甘酒を飲み、年々収量が増える梅酒に舌鼓を打ち、成長する梅の木を愛でながら、互いに語り合い楽しい一時を過ごす醍醐味が、何とも言えない。

かくして、みんなで無理なく、楽しみながら、街の景観を育てています。

此の活動に賛同される方々の、ご参加を心からお待ちしています。みんなが、できることを、できるときに、やりましょう。



まちなみ会議 活動アラカルト

★ 指定保護樹木案内で、タッキー816 ライブ放送

飛び出せラジオ!
タッキーたんけん隊

箕面の指定樹木を巡る旅3
(11/30火)



11月30日(火)、第3回 箕面の保護樹木を巡る旅で、まちなみ会議の今枝・岡島会員が指定樹木の案内を行い、ライブ放送されました。

阿比太神社の宮司さん、光明寺の住職さんに、保護樹木の由来や管理のご苦労話をお伺いしました。

- ① 桜ヶ丘、阿比太神社の保護樹林
- ② 新稲、民家の保護樹木
- ③ 新稲、八幡太神社の保護樹木
- ④ 西小路、光明寺のおおいちょう(府天然記念物)

★ 環境フェアにまちなみ会議活動紹介パネルを展示



2月12日(土)~18日(金)に、メイプルホールにて開催された環境フェア(主催 箕面市)に、環境関係市民団体の一員として、まちなみ会議の活動紹介パネルや資料などを展示・配布しました。また、参加団体との交流会に出席しました。

★ マンホールの蓋 パネル展



「足元にもロマンがある マンホール蓋物語」のタイトルで、2月11日(金)~25日(金)、みのお市民活動センターにて、マンホール蓋の写真展が開催されました。出展者は、まちなみ会議 大町会員。まちなみパネル展でも、一部が紹介されていましたが、1200以上の市町村の写真の内、各地の風景等を中心にした展示でした。

(事務局 片岡 正彦)

★まちなみ会議活動記録★

- 11月 28日 定例会議、活動状況報告他
12月 5日 箕面市まちなかのみどり支援事業で「まちなかのみどりを探して」を講演
18日 タウンウォッチング ”一の橋より農業用水路を辿る”
19日 定例会議、活動状況報告、パネル展展示内容の検討
1月 16日 定例会議、活動状況報告、パネル展展示内容の骨格作り
まちなみサロン：まちなかの緑についてスライド上映
2月 12～18日 市主催 環境フェアに出展参加
20日 定例会議、活動状況報告、パネル展準備スケジュール等打ち合わせ
3月 7, 16, 20日 パネル作製
25日 まちなみ通信・みのお 42号 パネル展特集号発行
25～4/3日 第15回 まちなみパネル展 2011 開催



・みのお市民まちなみ会議の最大のイベントでありますパネル展を、メープルホールロビーで開催致します。“継続は力なり”と申しますが、展示を重ねて15回目となります。お手元にパネル展特集を、お届け致します。例年と違った角度から、箕面の美しさ、良さをお伝えしたいと、展示しております。

多くの市民にご覧頂き、ご意見や感想をお聞かせ下さい。

・巻頭言は直田会長が「風景」はどこから生まれるかと、沖縄竹富島の例を紹介しながら“住民による共同性”という言葉で、**景観（風景）を生み出すのは、住民の地元に対する意識、つながり、配慮**だと述べています。3月11日東北関東地震による大津波で、町や集落が壊滅する甚大な被害が発生した。国民はテレビに釘付けになって、この悲劇を驚きの目で観ていたと思います。その中で八戸の避難所では、地域の自治会が、日頃から備えていた設備で、いち早く焚き出しや、毛布の配付など役割分担に応じて、的確に対応される姿が報道された。此の自治会は、日常的に地元を愛する心で結集し、共助の活動を続けていた。このことは、地元を愛する人々の心の結びつきが、如何に大切かを教えてくれた。災害でも景観でも、**出発点は全て地元への愛着**だと思います。

・我が会のマドンナ池田さんが、昨年の巻頭言でパネル展では、**当番の会員がご来場の皆様に、パネルの説明をしてご覧になる一助となるよう勤めているのが特徴**と書かれ、にこやかな笑顔で率先して説明されていた。しかし、今年はマドンナの微笑みが密かに消えたのが寂しい。

・箕面市まちづくり政策課西山さんから、**景観は私たちの暮らしが映し出された姿**とご投稿頂きました。市民ひとり一人が考えてみましょう。

・シリーズの“**景観に配慮した色彩**”では、最近俄に目立つて来たクリーニング店を取り上げた。“**箕面を愛する活動グループ**”では、箕川の清掃活動を続け、川岸に梅の記念植樹を行い、蛍の飛び交う街を呼び戻す活動する方々を紹介した。“**VIVA箕面**”は、会員が持ち回りで、好きな箕面の良い風景、街を紹介するものです。 (大町 凱彦)